

## 女性とオリンピックの歩み ～そして多様性へ

今年(2021年)は57年ぶりに東京でオリンピックが開催されました。3つのコンセプトの1つが、一人ひとりが互いを認め合う「多様性と調和」です。そこで、これまでのオリンピックの歩みを取り上げてみました。



(イラスト：公益財団法人日本オリンピック委員会)

1896年	第1回大会ギリシャ・アテネ 女性選手の出場は認められず
1900年	第2回大会フランス・パリ 女性選手初参加(ゴルフ、テニスのみ)
1912年	第5回大会スウェーデン・ストックホルム 日本人初参加(男性2名)
1928年	第9回大会オランダ・アムステルダム 女性の陸上競技参加が認められる 日本人女性初参加〔人見絹枝選手〕 陸上女子800メートル銀メダル
1936年	第11回大会ドイツ・ベルリン 日本人女性初の金メダル〔前畑秀子選手〕 競泳女子200メートル平泳ぎ
1964年	第18回大会 日本・東京(アジア初) 日本女子チーム(東洋の魔女)金メダル バレーボール(正式種目)
2012年	第30回大会イギリス・ロンドン 全競技で女性参加が可能になり、全参加国 ・地域から女性選手が派遣された
2016年	第31回大会ブラジル・リオデジャネイロ 2014年オリンピック憲章の変更(※) 性的指向による差別の撤廃が明記される
2021年	第32回大会 日本・東京 名称は東京2020オリンピック 自らの性的マイノリティと公表した選手が過去最多

### ※オリンピック憲章の根本原則6

「このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会的な出身、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。」

みんなで「性の多様性」の知識を身につけ、人権を侵害しない配慮や接し方を受容する社会づくりが、いま必要とされています。

## LGBTQ とは？

L	Lesbian (レズビアン)	女性を好きになる女性
G	Gay (ゲイ)	男性を好きになる男性
B	Bisexual (バイセクシャル)	性にかかわらずどちらも好きになる人
T	Transgender (トランスジェンダー)	心とからだの性が一致しない人
Q	Questioning(クエスチョニング)	心の性や好きになる性が決められない人

他にも様々なセクシュアリティ(性のあり方)がある

## オリンピック初！トランスジェンダーの選手出場

トランスジェンダーのローレル・ハーバード選手はニュージーランドのウエイトリフティング女子87キロ超級の代表選手。トランスジェンダーを公表した選手が出場するのは、オリンピックの歴史で初めてとなる。

彼女は男性として生まれ、1990年代から競技を始めた。1998年に新しく設立された男子105キロ超級部門でニュージーランドのジュニア記録を樹立した。

2012年に性転換をして女性となり、名前もローレルと改名した。以降数々のタイトルを獲得しているが、そのたびに批判を受けることとなった。今大会でも注目を浴びたが、残念ながら記録は残せなかった。



## 金メダリストからのメッセージ

東京2020オリンピック男子シンクロ高飛び込みで金メダルを獲得したイギリス代表のトーマス・デーリー選手は、2013年同性愛者であることを公表。応援席で編み物をする姿が、世界的に話題となった。現在は結婚し、映画プロデューサーの夫と共に3歳の息子を育てている。



「私は同性愛者であり、オリンピックチャンピオンであることを、誇りを持って言えます。たとえ今どんなに孤独を感じていたとしても、あなたはひとりじゃないし、なんでも成し遂げられる。あなたを助けてくれるたくさんの仲間がいます。」と若いLGBTQの人たちにメッセージを発信した。

## 日本人女性 初参加の歴史

ひとみきぬえ  
人見絹枝は1928年の第9回オランダ・アムステルダムオリンピックに日本人女性として初参加をし、銀メダルを獲得した陸上選手。

1907年に岡山県で生まれた人見絹枝は、テニス選手を経て陸上競技で数々の好成績を収め、日本新記録を連発。多くの大会で優勝を飾っている。

1928年アムステルダムオリンピックにおいて史上初めて行われた陸上競技女子個人種目すべてにエントリーし、800m走で銀メダルを獲得した。日本人女性初のオリンピック出場で五輪メダリストとなった。

その後1930年まで世界の第一線で活躍し続けたが、過密な大会スケジュールなどにより体調を崩し、翌年8月に肺炎のため、24歳の短い生涯を閉じた。



## 多様性と調和の象徴

2021年7月23日に行われた東京2020オリンピックの開会式。最終聖火ランナーとして聖火台に火を灯した大坂なおみ選手はハイチ系アメリカ人の父と日本人の母のもとに生まれたテニスプレイヤー。まさに東京オリンピックのコンセプトである多様性の象徴と謳われた。